地区だより …… 令和３年10月１日発行

ちゅうおう

＜地区人口と世帯数＞
男 19,128人　女 20,663人
計 39,791人
世帯数：21,033世帯
（９月１日現在）

2021
10月号

【編集発行】
福島市役所広聴広報課
〒960－8601　福島市五老内町３－１
☎525－3710　FAX536－9828

市からのお知らせ

中央東・西地区自治振興協議会を開催しました

８月24日に中央東地区、８月30日に中央西地区の自治振興協議会を開催しました。
各地区の委員と市長ほか市関係者が出席し、それぞれ協議テーマ１件について協議が行われました。その後「市長との意見交換」では、市政や地区の将来などについて、活発に意見が交わされました。

■問／地域共創課　☎525－3731

地区	協議テーマ	市の見解
中央東	県道福島停車場線（福島駅前通り）と国道13号の交わる栄町交差点のスクランブル化について	８月上旬に商工会議所をはじめ地元関係団体の皆さまが栄町交差点のスクランブル化について関係機関へ要望活動を行ってきたところです。福島警察署からは「スクランブル化により、交通渋滞などの影響が出る可能性があるため、調査していきたい」。また、国土交通省福島河川国道事務所からは「平和通りあづま陸橋東交差点にも近く、交通渋滞などが発生しているためスクランブル化は現段階では難しいが、福島西道路南伸などの状況により中心市街地の将来交通量の変化を踏まえ検討していきたい」。とそれぞれ見解が示されました。 本市としましては、回遊性の高い安全で快適な歩行空間の創出を目指していることから、地元の関係団体の皆さまと一緒にスクランブル化の社会実験などの試行について関係機関と協議したいと考えています。
中央西	新幹線側道道路（太田町・矢剣町地内）改善について	太田町・矢剣町地内の新幹線側道道路は、当初より対面通行でありましたが、昭和63年に「あづま橋」が開通したことにより、他地域からの交通量が増加した影響で、運転者の混乱と誤進入によるトラブルの増加や交通事故の危険性から、平成４年９月に新幹線の西側と東側で交通方向を分離し、互いに一方通行とする現在の交通形態に変更しております。 その後、平成15年９月より市道矢剣町・鳥谷下町線が対面通行で整備され交通の流れが複雑化したことで、運転者の混乱を招き追突事故などが懸念されることから、今回の要望につながったものと考えています。 その解決策としてご要望いただいた市道方木田・太田町線の車道幅員を広げて、対面通行道路に変更することについては、今後、周辺地域の皆さまのご意見を伺いながら、安全性の検証や隣接事業者との調整も含めて、警察署と連携して改善に向けて検討します。

【福島市健康づくりポイント事業】
『健康づくりで競争（共創）チャレンジ』に参加してみよう！！

皆さまの健康づくりの取り組みをポイント化してお住まいの地区毎にポイントの合計値を競う「健康づくりで競争（共創）チャレンジ」がスタートしました。地区毎の参加者一人あたりのポイント数や取り組みへの参加率によって、各地区の順位が決定します。順位に応じて、地域の課題解決や新たな魅力の創出などに活用できるまちづくり資金を、地区の『ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会』に対して交付します。ぜひこの機会に健康づくりに取り組んでみましょう！　**■問／地域共創課　☎525－3731**

■取組期間　令和３年９月１日～令和４年１月31日

■参加方法
①市ホームページまたは下記配布窓口から専用台紙を取得
②毎日の健康づくり、健康事業への参加などの項目を記入しポイントを貯める。
③取組期間中に窓口に提出した台紙のポイントが地区ポイントとして加算されます。

専用台紙ダウンロード

■配布窓口　保健福祉センター３階 健康推進課、各支所、学習センター、
市役所１階 国保年金課、２階 長寿福祉課

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960－8018　福島市松木町１番７号
☎534－6631　FAX533－7592

市民学校　防災　受講生募集

地域の防災力アップ講座～家族で学ぶ防災教室

災害について学び、災害時に求められる役割や行動を家族で考えてみましょう。

○**日　時**：10月23日㈯　午前10時～午後１時
○**場　所**：中央学習センター　２階ホール
○**内　容**：①家族で学ぶ防災講座
②非常食の試食体験
③工作体験～身近なもので作れる防災グッズ
○**講　師**：防災士　高橋　誠 氏
○**定　員**：20名（中央地区に在住、在学する小学生から中学生までの児童生徒及びその保護者）
＊小学３年生以上は子どものみの参加も可
＊保護者１人につき子どもは２名まで、子どもが３名を超える場合は別の保護者が付き添うこととする
○**参加費**：ひとり100円
○**申込み**：９月15日㈬から10月13日㈬まで、①福島市オンライン申請システム、または②中央学習センター窓口で受付します。定員を超えた場合、抽選となります。

第52回 中央地区文化祭 開催!!

利用団体の方々の作品展示、普段練習している芸能の成果を動画放映、主催事業の各作品展示をしております。
密にならないよう７日間で開催いたしますので、ぜひ静かな文化祭をお楽しみください。（感染症対策のため10月31日に予定していた芸能発表は中止し、活動の様子として１階ロビーで動画放映いたします）

◇**日　時**　11月６日㈯～11月13日㈯
午前９時～午後５時30分
（９日㈫を除く）
◇**場　所**　中央学習センター
◇**主　催**　第52回中央地区文化祭実行委員会
福島市中央学習センター

ICT活用セミナー　受講生募集!!

パソコン集中講座【お家でつくる年賀状（初級編）】　～ 初心者の方やレベルアップを目指す方、大歓迎 ～

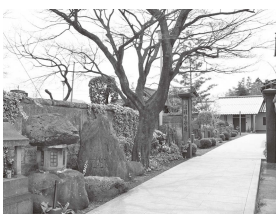
○**日　時**　11月４日㈭・11月11日㈭全２回　　午前９時45分～11時45分
○**場　所**　キョウワグループ・テルサホール（福島テルサ）　４階「すりかみ」
○**内　容**　Wordを使った年賀状作成（裏面作成）
・パソコン（Word）の基本操作、イラスト・写真等の挿入・編集、文字の入力・編集、レイアウトの工夫、他
※イラストは講師側で準備しますが、複写不可となります。宛名の作成と印刷は行いません。
○**対　象**　・中央地区在住の一般成人の方で、初歩的なパソコン操作（マウス操作、文字入力等）はできる方
・マイクロソフト社製Wordがすでに入っているノート型パソコン（Windows）をお持ちの方で、当日持参できる方
○**定　員**　10名（先着順）
○**参加費**　2,000円（テキスト代等）
○**準備物**　ノート型パソコン（Windows）、パソコン電源コード、マウス、筆記用具等
○**講　師**　パソコンスクールPeaCh　吉田かおり 氏・高橋あゆみ 氏
○**申込み**　・10月６日㈬から10月27日㈬の間に申込用紙に記入し、中央学習センター窓口で参加費を添えて申し込んでください。10月７日㈭より電話でも受け付けます。（休館日（火曜日）を除く）
・受付時間　午前９時～午後５時45分

令和やさしい地元学　信夫野・歴史の細道 第７回

ふくしまけん歴史の案内人の会（元福島県遺跡の案内人の会）　会長：紺野義行 氏

伊達晴宗（15代）と杉目城　梁川城→西山城（桑折町）→米沢城→杉目城（現：福島県庁）

福島城の前身は杉目城（現：福島市杉妻町を中心とする地域）である。かつて伊達持宗（11代）が挙兵したころは大仏城と呼ばれていた。
伊達稙宗（14代）は陸奥国（現：東北地方）守護として、活発な外交や軍事活動、「塵芥集」や「段銭帳」等に基づく内政の整備を推進していったことが伊達氏の内紛となり、やがて奥羽の大乱となった。乱の発端は、越後国（現：新潟県）守護であった上杉定実の継嗣（けいし：後継ぎ）に稙宗の三男時宗丸（実元）としようとしたことである。天文11（1542）年６月、時宗丸が越後に出発する３日前に突如稙宗が晴宗によって西山城に幽閉された。ここに「天文の乱」が始まった。時宗丸は、定実から一字を拝領して上杉実元と名乗ること、腰刀「長光」と「竹に雀」の家紋を贈ることなど準備が進められていた。ところが稙宗が越後に向かう実元に家中の精鋭100騎を随行させようとしていることを知った実元の兄・晴宗がこれに反発したのである。ここに、上杉家との縁組は中止となった。しかし、西山城から脱出に成功した稙宗は晴宗に対して兵を向け、南奥羽全域を巻き込んだ天文の乱が勃発した。大森城は城主実元が父稙宗方に味方し、稙宗方の重要拠点となった。天文17（1548）年に乱が終息し、稙宗の隠居と実元の兄・晴宗の家督相続が決まった。晴宗は桑折西山城から出羽米沢城へ移った後、兄・晴宗と和解した実元は大森城主にとどまり、信夫郡南部の支配権を与えられた。
晴宗の父子相克はこれでは終わらず、今度は息子輝宗（16代）との間に争いが始まった。争いの原因は、相馬氏と通じた家臣角田城主田手宗光とこれを攻めようとする輝宗、穏便におさめようとした晴宗との相克である。永禄３（1560）年から５年間の争いは、晴宗が隠居して家督を子の輝宗に譲ることで和睦した。
戦国大名権力成立期の矛盾が激化しておきた父稙宗、子輝宗との２回の父子相克を終えた晴宗は伊達家の安泰を確認したのか家督を譲り選んだ地は信夫郡杉目城だった。15代伊達晴宗は天正５年に死去、お墓は現在も船場町の宝積寺にある。


船場町の宝積寺

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容が変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。